

平成 29 年 8 月 発行

第 46 号

発行 有田川町議会

発行責任者 議長 湊 正剛

住所 〒 643-0021

和歌山県有田郡有田川町

大字下津野2018番地4

TEL 0737-52-2111

FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

有田川町議会広報 かわら版

球児の夏! 熱い夏!



写真提供：青木義雄 氏

第99回全国高等学校野球選手権和歌山大会

～住民との共同によるゴミ減量活動を評価～ 「わかやま環境大賞」を受賞！ 中山町長 4選出馬表明

平成29年第2回定例会は、6月6日から20日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は、原案の通り可決しました。

有田川町議会平成29年第3回定例会は、9月4日開会の予定で、一般質問は9月13日・14日に予定されています。

一般質問 10議員が質問



1. 橋 爪 弘 典 ……3ページ
2. 殿 井 堯 ……4ページ
3. 佐々木 裕 哲 ……5ページ
4. 辻 岡 俊 明 ……6ページ
5. 林 宣 男 ……7ページ
6. 谷 畑 進 ……8ページ
7. 小 林 英 世 ……9ページ
8. 岡 省 吾 ……10ページ
9. 増 谷 憲 ……11ページ
10. 堀 江 眞智子 ……12ページ

(通告順になっています)



町長選4選出馬への意志と その抱負を聞く

橋 爪 弘 典

町長選4選出馬の意志は

町 長

挑戦していきたい

質問 旧3町、清水・金屋・吉備の地方自治体が、平成18年1月1日に合併し、新しい有田川町が誕生して丸12年という歳月が流れようとしている。

来年、平成30年2月4日をもって町長の任期も満了し、町長選挙が実施される。私はこの12年間、議員という職責において、中山町長の政治姿勢や政治行動を見てきた。

旧3町の中での摩擦や、利害の衝突など、わが町へわが町への我田引水的な駆け引きが横行する中で、旧3町が置かれている立場をよく理解・認識をされ、バランスの取り方に努力をされてきた。

私も長年にわたり、地方自治の発展のために幾ばくかの心血を注いでき

た者として、敬服の念に堪えない。

各地域の特性を生かし、町政に反映してきたことは3回の選挙で当選したことにつながっている。

残された政治課題が数多くあり、若者の住みやすい町づくりや少子高齢



答弁に立つ中山町長

化の中での子どもたちの健やかな成長、そして特別養護老人ホーム・老健施設・グループホームの増設に力を注いでいたきたい。

また、これからは認知症対策が大きな割合を占めることが確実であり、

未然にどのように防止するのか対策が必要である。二川ダム湖底の土砂撤去、有田川の堆積砂利の撤去なども急ぐ課題だ。政治家として大きく成長し、まだまだ元気な中山町長に4選目の町長選に挑戦されるよう推挙し、所信の一端をお聞きする。

町長 当初、合併について反対意見も多くあったが、平成18年1月1日をもって3町が合併をした。

旧3町の特性を生かした行政を進め、職員の異動もスムーズに進んでいる。

県下でも数少ない人口減少の少ない町であり、若者が住みたい町をめざしている。

次の4選目の課題や、またやり残したことが見えてきた。環境の問題や福祉のことがある。

それらの解決のために多選の批判もあろうかと思うが、4選目の選挙に挑戦したい。

営農型太陽光発電の設置条件は 議場での一般質問の取り扱いは



殿 井 堯

営農型太陽光発電にかかる
固定資産税は

住民税務部長

営農を前提とすれば課税は農地扱い

質問

有田川町は「わかやま環境大賞」を受賞するなど、今やエコの町として注目を浴びている。

太陽光発電の新しい取り組みとして、農地をそのまま活用しながら、一部を太陽光発電に利用するという営農型太陽光発電施設があるようだが、これを利用する場合の手続きの



営農と発電を目的とした営農太陽光発電施設（上中島地内）

方法や、固定資産税の税額などとはどのようなになっているのか。

産業振興部長

営農型太陽

光発電を設置する場合の手続きとして、一般の農地転用書類に加えて、営農計画書や営農見込書などの提出が必要となる。

営農が継続されないと判断された場合は、設備を撤去することになる。

住民税務部長

農地の営農

を前提とした太陽光発電設置の場合、固定資産税の課税は農地扱いになる。

質問

農地を雑種地に変え太陽光発電を設置した場合、雑種地であることから固定資産税も上がることを知らなかったという声もある。

雑種地に変更し、太陽

光発電を設置した人が営農目的の条件を満たしていれば再び農地に戻すということは可能なのか。

産業振興部長

その場合は、

太陽光発電を一度取り除いてから農地に戻すということになる。

一般質問で出された
質問や提言の周知は

町 長
各部長から課長・職員へと伝達している

質問

一般質問で出された数々の課題を執行部はどのように取り扱い、現場の課長や係長にどこまで浸透させているのか。

町 長

議会終了後、一般質問の内容は各部長から課長

にそして職員へと伝達される。また、議事録の内容はデータによりチェックすることができるとが。

すべてを実現することは難しいが、可能なことは実行するよう努めている。

質問

以前の一般質問で湯浅町に販売している水道料金が安すぎるのではないかと質問をしたことがあった。

その問題はどのように改善されたのか。

建設環境部長

湯浅町への分水は昭和51年より開始した。

平成23年の一般質問を受け、平成24年度の単価決定時からは職員が慎重に協議を重ね、町の水道料金を念頭に原価を下回らないように努めている。

要望

今後も防災関係など緊急性を要するものから十分な検討をし、改善されることを期待する。



旧高野街道のPRと文化遺物の管理は 社協補助金の使途は

佐々木 裕 哲

歴史街道をどのように生かすのか

町長
貴重な文化遺産であり観光資源だ

質問 高野街道は明治後

期まで有田から高野へ通じる重要な街道であり、アリの行列のように人々が往来したと言われている。

有田川町だけ見てもルートが何本かに分かっている。周辺に歴史文化財が多く「見てみたい」「行ってみたい」「行つて良かった」と言われるところが数多くある。

これからの観光は、心が癒やされる自然豊かな田舎を楽しむのが主流である。

高野街道は町内においては熊井から押手に至るまで40地区が関係しており、地域の発展にもなる。

この歴史街道を観光面に生かしてはどうか。

町長 有田川町には数多くの歴史遺産がある。歴史を物語る側面だけでなく重要

な観光資源であり、高野街道も重要と認識している。

教育部長 以前から指摘されており、有効活用は計画途上にあるが、道標設置には至っていない。

今後、商工観光課と共同しながら文化遺産を生かした対策を考え、街道筋の社寺やかつての歴史遺跡をしのぶ場所に道標を設置したい。

産業振興部長 グリーンツーリズムや田舎の自然の中を歩いてもらうことなどを前向きに検討したい。



文化遺産の高野街道碑（小川地内）

文化遺産の管理は

教育部長
貴重な遺物の管理がずさんだったことを反省する

質問 20年前の旧金屋町



明恵上人筏立遺跡

時代に「明恵上人筏立遺跡」を発掘調査した時の文化遺物が、不法投棄物処理を委託したゴミ処理業者によって発見された。どのような経緯でこのようなことになったのか。

教育部長 その遺物は平成9年に金屋町が実施した明恵上人の筏立遺跡を調査した際に発見されたものである。

20年前のことであり、なぜこのようになったのか調査したが不明である。貴重な遺物の管理が徹底されていなかったことは非常に申し訳なく反省している。

今後、事務引き継ぎについてはきっちりと横の連携

をとり、廃棄する場合は、報告・連絡・相談をしながら行いたい。

**社協への補助金
使い方は適正か**

町長
事業全体の
見直しを

質問 町長は社協の理事長も兼務しているが、合併後経営内容が年々悪化し、最近では赤字経営が続いている。あと2、3年で基金が底をつく状態になるのは確実である。

介護保険事業収入や補助金など、総収入（3億4900万円）の85%が人件費であるが、町からの補助金の使い方についてどのように指導しているのか。

町長 補助金は、法人運営の人件費と地域福祉に関する事務費に使用している。

町財政も厳しい中、各地域福祉事業の評価を行い、事業実施する人員体制の見直しなども含めて指導していく。

電力自由化の取り組みは「子ども議会」の成果は



辻 岡 俊 明

電力自由化の取り組みは

町 長 8施設で新電力会社と契約。電気代の削減を見込む

質問 以前、安い新電力会社から電気を購入することを提言したが、その後はどのようなになっているのか。

町長 町は安い電気の購入を検討し、8施設（役場吉備庁舎、金屋庁舎、清水行政局、きびドーム、清水斎場、藤並小学校、田殿小学校、吉備中学校）で新電力会社の契約変更を行った。

この8施設の電気代は年間約3700万円であるが、約900万円の削減を見込める。

今年4月1日より電力供給を受けている。

質問 新電力会社に切り替えて間もないが、今年4月の電気料金は昨年4月の実績と比較してどのように変わったのか。

また、新電力会社の契約にあたって何社が応募してきたのか。

総務政策部長 8施設の4

月分の電気料金を昨年と今年で比較すると、燃料調整費などを差し引いた純電気料金で約68万円の削減となっている。

また、契約は、昨年12月に5業者から見積書を提出してもらった中から一番安いものを選んだ。

質問 今後、電力契約の取り組みをどのように考えているのか。

町長 新電力会社へ変更後、

関西電力から法人特約割引の提案があり、高压電力の残り施設についても大幅削減を見込める状況である。

今後は節電も含めて電気代が安くなるように取り組んでいきたい。

「子ども議会」を開催して

町 長 住みよい町にしたいこうとすることがわかる

質問 今年も3回目の「子ども議会」開催の時期が近づいている。これまでの「子ども議会」に期待以上の成果があったのではないかと考えている。

今年の「子ども議会」は8月2日に吉備中学校生徒会役員を中心に実施すると聞いているが、これまで2回の総括と今後の取り組みはどうか。

町長 若者が議会を身近に

感じ、政治や行政に興味・関心を持つってもらう良い方法と考え、実現できるように教育部に指示した。そして過去2回、本番さながらに「子ども議会」を開催することができた。

生徒たちの質問は道路、高齢者、地域のことなど多岐にわたり、住みよい町にしたいこうとすることがわか

る素晴らしいものであった。

教育長 「子ども議会」の目的は「議会を身近に感じてもらふこと」や「町政に質問や提案をしてもらうこと」「政治や行政に興味・関心を持ってもらうこと」などである。有権者の選挙権年齢が18歳に引き下げられた時期であり、タイムリイなことであった。今後課題を検討しながら実施していきたい。



子ども議会の様子（平成28年）



心の教育は マイナンバーカードの利用は 早急に信号機の設置を

林 宣 男

はじめ、不登校への対策は

教育長 早期発見に努めている

質問 本町の小、中学校におけるいじめ、不登校の有無についてどこまで把握できているか。また解決にどのような具体策を考えているか。

教育長 いじめに関して本町では、問題発生時に学校、保護者、教育委員会が連絡を密にし、担当教員が家庭訪問を繰り返して、現状を正

道徳教育の目標は

教育長 町を担う心豊かな人材の育成を

質問 平成30年4月1日から実施される道徳教育について、具体的な指導目標は何か。

教育長 これまでも小中学校において年間35時間実施

確に把握するとともに、保護者の協力を得ながら、問題解決に努めている。

不登校に関しては、1カ月に3日以上欠席した児童、生徒について情報を共有し、早期発見に努めている。

教育部長 平成28年度のいじめ件数は小学校で40件、中学校で10件となっている。いじめ防止推進法にしたがい、積極的に認知し、すべて解消している。

不登校児童生徒数は平成28年度、小学校で10人、中学校で20人であり、減少傾向にある。

している道徳の時間を中心に、道徳教育を進めている。

道徳教育はいじめ、不登校問題根絶と大きく関係している。特別な教科、道徳を要として、各教科や教育活動全体において子どもたちが主体的に学ぶ場を確保し、本町の将来を担う豊かな心を持った人材の育成に寄与していきたい。

マイナンバーカード利用の推進は

町長 今後の課題として取り組む

質問 マイナンバーカードを使って、コンビニエンスストアで住民票などを取得できるようにしてはどうか。

町長 コンビニエンスストアを利用することで証明書の取得場所が飛躍的に多くなり、窓口の仕事も減ると思う。

しかし、カードを取得している人数はわずかである。今後の課題として取り組みたい。

住民税務部長 マイナンバーカードは本年5月末時点で、発行枚数1583枚、割合は約6%である。

信号機の設置を

町長 県警本部に要望していく



事故多発の交差点（町道小島地内）

質問 小島にある運送会社となりの町道交差点について信号機の設置を求める。

町長 先日大きな事故があったと聞き、湯浅警察署へ陳情に行き、県警察本部から県に上申してくれたが、取り上げてくれなかった。7月にもう一度、上申してくれるようだ。

キウイフルーツの推奨を 有田川の浚渫・樹木伐採計画は 放置ゴミ対策は



谷 畑 進

キウイフルーツを
推奨しては

産業振興部長

改植など推奨した
い

質問 後継者不足から、
中山間地域では、遊休農
地が増えている。

農家に少しでも活気を
取り戻す対策として、近
年高価格で販売されてい
るキウイフルーツを推奨
してはどうか。

産業振興部長 「果樹産地
構造改革計画」においてキ
ウイフルーツが振興品目と
なっている。

改植など推奨していきたく
と考える。

質問 改植の補助金はあ
るのか。

るのか。

産業振興部長 かんきつ類
の改植は、10アールあたり
23万円、他は10アールあた
り17万円が支援される。

有田川堆積物対策など
今後の計画は

町 長 県へ強く要望する

質問 有田川流域にたま
った土砂と立ち木が茂っ
ているのが目立つ。

住民は、いつ来るかわ
からない想定外の豪雨に
よる増水を心配している。
土砂の撤去と樹木の伐
採計画を問う。

町長 町としては、有田川



近年注目されているキウイフルーツ

流域の浚渫および樹木伐採
は、重要な課題だ。

平成27年10月に、有田川
水系河川整備計画が策定さ
れ、河床掘削・樹木伐採を
今後20年間で計画的に実施
するとされている。

平成29年度は、河川改修
に伴い、昨年と同程度の河
床掘削および、樹木伐採が
予定されている。

早急に完了できるよう県
へ強く要望していく。

不法投棄・放置ゴミ対策は

建設環境部長
あらゆる手段を
使って啓発してい
る

質問 以前から、道路わ
きや山間地への空き缶、
ペットボトル、買物袋な
どのポイ捨てゴミをよく
見かける。「不法投棄禁
止」の立て看板の効果は
あるのか。

建設環境部長 看板の設置
は、一定の効果があり、減
少していると考ええる。

質問 当町は「わかやま
環境大賞」を受賞した。

エコできれいな町づくり
をめざして、この放置ゴ
ミに対して、今後の対策
を問う。

建設環境部長 大型の看板
や「法律により罰則を受け
る」の強い口調の記載もし
ている。監視カメラの設置
も行うなど、あらゆる手段
を使って啓発している。

質問 不法投棄はごく
一部の人の道徳の問題だ
と思う。純粋な心を持っ
ている子どもや、公德心
あふれる人の意見を聞き、
心を動かす標語の立て看
板を設置してはどうか。

建設環境部長 ゴミを捨て
る人のモラルの問題であり、
心に響く標語の看板をつく
るよう検討していきたい。



小学校英語の教科化…その対応は わが町の観光…現状と課題は!

小 林 英 世

小学校英語の教科化に
どう対応するか

教育長
実施検討委員会を
設置する

質問 平成32年から小学
校で英語が加わるが、どの
ように対応するのか。

教育長 関係教員には平成
27年度から研修を実施して
いる。

本町は、3・4年生に年
間35時間の国際理解教育を
5・6年生に年間70時間の
教科英語を実施する予定。
来年度から実施検討委員
会を設置し、独自のカリキ
ュラムを作成するなど効果
的な実施に対応していく。

質問 5・6年で増える
週2時間にどう対応する
のか。

教育長 次年度からの検討
委員会で検討する。

質問 今まで英語を教え
てこなかった教員が教科
として教えることになる

が現場は大変なのではな
いか。

教育委員長 大変だがやら
ないわけにはいかない。

前々回の指導要領改定か
らいつかはと予想はできて
いた。

委員会で検討し、創意工
夫をしながら対応する。

質問 学園の連携はどう
するのか。

教育長 小中相互の授業参
観や交流などにより英語指
導の充実に取り組む。

要望 児童と教師に負担
が大きいことを念頭に検
討されたい。

本町の観光、現状は

町長
費用対効果を考慮
し地道に取り組ん
でいる

質問 平成26年から3年
間のわが町の観光客数の
推移を見ると平成28年度

の落ち込みが大
きい。どう分析
するのか。

町長 天候の影響

が大きい。また、
平成26年度・27年
度はプロジェクト
事業やイベントの
実施で集客できた。

今後、費用対効果も踏ま
え、地道に有田川町のPR
活動を続けたい。

質問 県の統計では平成
28年度観光客数は史上最
高となっている。本町の
広報に問題はないか。

産業振興部長 あらゆる媒
体を使って広報している。
不十分な部分があれば今
後検討したい。

質問 D51が搬入されて
いる鉄道交流館の状況と
今後の計画は。

町長 乗車体験などは好評
であるが天候に左右される
面もある。D51は整備中で
夏休みには一般公開したい。



話題のD51

質問 「サイクリング王
国わかやま」に町として
どう取り組むのか。

5月の連休に実施した乗
車や写真撮影のイベントは
好評であった。

町長 国道480号の一部
にブルーラインが入り、サ
イクリングロードと認定さ
れた。しかし、道路状況が
良くないので整備を進める
ように県にも働きかけたい。
一般道路（生活道路）を
町としてサイクリングロー
ドに指定する計画はない。

要望 観光客の増加が周
辺住民の苦情につながら
ないよう、行政は十分配
慮されたい。

～その後どう取り組んだのか～ 山椒ブランドの推進 木質バイオマス事業 学校給食の安全



岡 省 吾

山椒振興に向けての
取り組みは

町 長
より特色あるもの
に事業展開を図る

質問 地方創生推進交付
金事業でぶどう山椒振興
予算が計上された。詳し
い事業内容を問う。

町長 今回の事業で、より
特色のあるものへと発展さ
せる意味で、山椒の持つ成
分を「美と健康」の分野へ
広げ事業展開を図る。新た
な起業・就農創出を促し、
まちの活性化に努める。

産業振興部長 ぶどう山椒
のブランド化を図る事業と
して、今年度から3年間、
全体事業費5000万円を



高品質で名高い有田川町のぶどう山椒

木質バイオマス事業の
進展はどうか

町 長
関係機関と連携し
事業推進に努める

質問 県も森林振興、特

予定し、地域活性につなげ
る。

事業内容は、山椒の新た
な効果の裏付け調査として
成分の分析、統一ロゴの作
成や新規就農者などへの紹
介サイト開設。

有名料理人に依頼し、生
産者とともにブランドイメ
ージの構築や消費拡大の大
めのセールの。さらに次世
代継承に伴う人材育成も計
画している。

に木質バイオマス事業に
力を入れ始めている。そ
の後、町としての取り組
みはどうか。

町長 以前から提案のある
温泉施設への木質バイオマ
スボイラー設置は、ボイラ
ー更新時に費用対効果を検
証し、有益と判断できれば
導入に踏み切る。

また、木質バイオマス発
電については、現在2社の
事業所が事業展開を検討し
ている。安定的な運転には
発電にかかる燃料の木材を
安定供給できるかどうか
がカギとなる。

今後、関係機関と連携し
ながら事業推進に努めたい。

給食の安全対策は

教育長
徹底した衛生管理
のもと給食を提供

質問 全国的に給食によ
る食中毒報道がされてい
る。当町の安全対策はど
うか。

教育長 調理員ならびに栄
養士は徹底した衛生管理の
もと、安全安心な給食の提
供に取り組んでいる。

また、知識の習得や研修
会にも積極的に参加し、専
門性を高めている。

質問 食物アレルギーを
もつ児童の対応について
も特に懸念するが。

教育部長 児童生徒の体質
を個々に認識し、万全の対
策をとっている。

もしもの緊急事態にも速
やかに対応できるよう、エ
ピペン（アナフィラキシー
ショックの補助薬）配備や
関係機関との情報共有、ア
レルギーの事前対策などに
も取り組んでいる。

質問 食材の地産地消の
推進は。

教育長 食育の観点からも
地域の食材を取り入れる意
義は大きいと考える。率先
して、県内産や地域産を推
奨する取り組みを今後も続
けていきたい。



少子化は深刻、さらなる子育て支援を 就学援助制度の充実 農業ヘルパー制度を創設されたい

増 谷 憲

高校卒業まで
医療費助成を

町 長
検討しているが
他の方法も含めて
判断する

質問 子ども医療費助成
制度は、現在中学校卒業
までとなっている。

さらなる子育て支援の
充実から対象年齢を高校
卒業まで引き上げること
をしようか。

町 長 医療費助成制度は家
庭の負担軽減となり大切・
重要な制度である。

対象年齢引き上げの検討
はしているが、長く続けら
れるか、あるいは他の子育
て支援がないかどうか判断
して決めたい。

質問 町が独自に医療費
助成をしていると、国は
国保会計で減額調整とい
う補助金を減らすペナル
ティーをかけている。
来年度から小学校就学
前の医療費分については
減額調整をしないことと

なった。

平成28年度の実績で試
算して減額調整額はどの
くらいか。

住民税務部長 減額分は2
08万9000円となる。

質問 減額調整がなくな
った分を医療費助成の財
源に回してはどうか。

住民税務部長 国は他の子
育て支援に使うように求め
ているので、その指導に沿
ってやっていきたい。

進要保護制度の
国庫補助金の復活を

町 長
国へ要望する

質問 就学援助制度で、
中学校への入学準備金は入
学前に出せるようになった。
平成28年度の2万35
50円から平成29年度の
4万7400円と単価が
引き上がった。差額は
いつ出すのか。

教育部長 平成29年度中に
出していく。

質問 当町は、就学援助
費の支給項目の中でクラ
ブ活動費に出していない。
湯浅町やかつらぎ町では
出している。当町も出し
てはどうか。

教育部長 クラブの種類や
支給単価の差、対象経費の選
定が難しいので考えていない。

質問 就学援助制度には
要保護と準要保護がある。
当町は準要保護が大半で
ある。

国は進要保護への国庫
補助金をなくした。補助
金を復活するように国へ

要請してはどうか。

町 長 国へ要望していく。

農業ヘルパー制度で
労働力不足の解消を

町 長
検討したい

質問 農繁期などの労働
力不足と雇用の機会を増
やす農業ヘルパー制度を
つくってはどうか。

町 長 みかんや山椒収穫時
の労働力不足は深刻になっ
ている。

農業ヘルパー制度は良い
事例であり、関係者と連携
して検討したい。

町内農家・農地の状況

	面積 (㎡)	比率 (%)
農地面積※1	3720万9625	
うち遊林農地	680万7818	18.3
うち再生可能	36万0986	1.0
うち再生不可能	644万6832	17.3
	H17(戸数)	H27 増減
総農家数※2	2364	1959 △405
うち専業農家	986	1016 30
うち兼業農家	1378	983 △435
農産物販売金額	戸数	
100万円未満	518	
100-500万円	886	
500-1000万円	348	
1000-5000万円	207	

※1 平成28年度農地利用状況調査から

※2 平成17年度と平成27年度農業センサスから

自殺防止対策の強化と産後うつ対策を フェイクニュース対策教育を



堀 江 眞 智 子

自殺防止対策への 取り組みは

町 長
見守っていく体制
を構築したい

質問 4月26日に厚生労働省の有識者検討会議が開かれ、新たな自殺総合対策大綱に関する報告書が出された。そこに人口10万人あたりの自殺者数（自殺死亡率）を今後10年間で30%以上減少させるとの目標が明記された。他にも「産後うつ」などの妊産婦、過労の労働者・若者などへの自殺対策推進が打ち出された。昨年改正された自殺対策基本法は、市町村に「自殺防止計画」の策定を義務づけている。わが町の状況はどうなっているのか。

町 長 和歌山県の自殺防止計画は、平成30年度末までに策定予定となっている。その計画に基づいて町も計

画策定を行っていききたい。また、住民を対象とした「ゲートキーパー養成講座」を開催し、悩みを抱える方への支援を行っていく。

質問 厚生労働省の報告では妊産婦の自殺者数の割合が増加している。

本町の対応はどうか。また、このことを考慮したうえで「第2子以降の育児休暇中に上の子が2歳以下であれば家でみるのは当たり前である」ではなく、子育てしやすい町になるよう対策を講じてはどうか。

町 長 妊産婦への自殺防止対策は、本年10月より開始予定の「子育て世代包括支援センター事業」と「産前産後サポート事業」により、妊娠期から出産後まで専任



の助産師が訪問などを行い、育児の悩み解消に取り組んでいく。

そして、助産師と保健師が連携して「産後うつ」の対応にあたっていく。

また、家庭支援総合センターや子育て支援センターで情報を共有し、見守っていく体制をつくりたい。

教育長 育休退園の問題は、保健師とも十分協議をしながら個々の状況により対応している。

フェイクニュースに だまされない教育を

教育長
情報モラルについて
学習している

質問 現在の子どもたちの生活には、パソコン、スマートフォンなどが手放せなくなっている。

膨大な情報の中から本当のニュースとフェイク（うそ）ニュースを見極める目を養うことが大切であり、情報教育の中で指

導していくことが大切ではないか。

教育長 フェイクニュースへの取り組みは、小学校高学年を中心に総合的な学習で、情報の収集能力、選択能力、モラルについて学習している。

他の情報教育としては、児童生徒を対象に専門知識が豊富な外部講師を招いて学習する機会を設けている。また、保護者に対しては授業参観後に講演会を実施し、家庭と学校が連携・協力しながら子どもへの指導について議論を深めている。

分娩再開の周知徹底は

町 長
町広報紙で
知らせる

質問 有田市立病院の分娩が再開されたが、周知徹底されているのか。

町 長 町広報紙7月号でお知らせをする予定である。

議会運営委員会視察報告

「タブレット端末の活用と議会改革」

委員長 橋爪 弘典

6月29日から30日にかけて「タブレット端末を活用した議会運営と議会改革の取り組み」について調査するため、神奈川県寒川町議会を訪れました。

寒川町の概要

寒川町は、相模川が流れる神奈川県中央部に位



冒頭のあいさつをする橋爪委員長

置し、人口4万8000人、面積134km²の町です。視察では、タブレット端末を実際に体験しながら、導入に至る経緯、運用方法、議会改革の取り組みについて説明を受け、質疑応答の後、本会議場を見学しました。

タブレット端末の活用

寒川町では「議会改革推進委員会」を設置し、平成26年1月から議会改革の検討を始めました。改革のひとつとして、議会関係資料に年間約10万枚の紙類を使用することがあげられ、作成に要する時間や保管場所、廃棄処理コストが問題となったとのことでした。また、会議中に資料提



寒川町各議員に貸し出しているタブレット

出を求められたときには、中断しなければならぬなど、議会運営が非効率となっていたそうです。そうしたことから、資料のデータ化を検討し、紙資料との併用期間を経て、平成28年度から本格的にタブレット端末を導入しています。

通年議会の取り組み

通年議会は、議会閉会

中の期間をなくし、議会が主導的・機動的に活動できることで、チェック機能の充実強化を図り、災害時の緊急対応や突発的な行政課題に対応できるなどのメリットがあります。

寒川町では平成24年度に通年議会を導入し、会期を1年間に近い期間とし、議長の判断により再開と休会を繰り返す方式により、通年議会を実施



議場でのひとコマ

しています。今回の調査は、有田川町議会のこれからの運営に生かしていくための有意義な視察になりました。効率化だけでなく環境への負荷も軽減するタブレット端末の活用や、あらゆる緊急課題に迅速に対応できる通年議会などについてさらなる研究を重ね、より住民の皆さまの要望に応えられる議会をめざして取り組んでいきたいと思っています。

すばらしい有田川町に 私は… ～新採用町職員が議会を傍聴～

感じたことを書いていただきました。

町を今より 良くしたい

社会教育課 井口慧亮

私は、議会を傍聴するのは初めてで、どういったことが行われているか具体的に把握していませんでした。

しかし、今回の研修を通して、町民のために働く立場として、非常に勉強になりました。

また、今回の研修で、議員の方々からの一般質問や町長、教育長、各担当部長の答弁を聞き、共通していたことは、有田川町を今よりも良くしたいということだと感じました。

今後、今回の研修で感じた有田川町をより良くするということを心がけ、業務に取り組みたいと思います。

「何のために 働くのか」 を考えた

住民課 稲見朱美

議会の傍聴という、貴重な体験をさせていただきました。議場へ入るのも初めてのことであったのですが、何とも言えない緊張感のある空間に感じ、私も身の引き締まる思いでした。

議員の皆さまからの質問は、職員からの目線とは違う角度からのもので、

「なるほど」と思うことも多く「何のために働くのか」を考えさせられました。私も、有田川町の住民の皆さま、未来のために、考え、行動していきたいと思っています。ありがとうございました。

自覚をもって 仕事に取り 組みたい

こども教育課 上野山祐美

今回、議会傍聴をしたことで、自分が想像して



一般質問に耳をかたむける新採用職員（前列）

議員は住民の 声を議会に 反映させている

建設課 上山雄介

全体的には、自分の中に当初よりあった国会中継のイメージに近いものでした。しかしながら、実際に議会の傍聴を経験してみると、独特の緊張感

いた以上に討論が白熱していることに驚きました。議員の方々の質問では、町民の方が生活の中で感じていることやタイムリーな行政の取り組みだけではなく、新しい取り組みの提案される場面もありました。

議会におられた方々の「今以上に有田川町をより良くしたい」という想いが伝わってくるもので、私も職員の一員として、自覚を持ち日々の仕事に取り組みたいとあらためて思いました。

がありました。

強く印象に残ったのは、議員の方たちは住民の方々の声を議会に反映させていると感じたことです。故に議会での質問の内容、また回答を職員はしっかりと認識しておく必要があると思います。

また議員の方々のさまざまなご指摘を議会という場で伺って、身が引き締まる思いがしました。

他業務のことも 知らなければ

やすらぎ福祉課 久寿珠実

今回初めて議会傍聴をするという貴重な機会を頂いて、自分の担当している仕事以外の業務内容についての理解が深まりました。

特に印象に残ったのは、太陽光パネルを農地の上に設置するにあたって、農地から雑種地に転用し、

固定資産税が上がってしまうのを防ぐために、どのような手続きをしたらいいのか、についての質疑でした。町職員として、他業務のこともしっかりと知っておかなければならないな、と感じました。

よりよい暮らし につなげること が使命だ

産業課 熊ノ郷天音

議会で「今まで成し遂げたことは議会や町民のご協力のおかげ」と町長がおっしゃっていて、地方公務員として働く私たちも町民の方々の行政協力やご理解に感謝の姿勢を持つことが大切であると感じた。

町民に議会で行う一般質問は届いているのかという答弁が、印象に残っており、議会で話し合う内容を町民の方々にも伝達



し、有田川町のよりよい暮らしにつなげていくことがわれわれの使命だと強く感じた。

役場組織の 仕組みを 再認識した

総務課 栗生瑞己

今まで全く知らなかった議会を研修の一環として、傍聴することができ、非常に貴重な経験をさせていただきました。

また、普段自分の行っ

ている仕事は、町長の考えや町民を代表する町議会議員の方々の声をもとに、方針が決定・修正されていることを肌で感じる

ことができ、役場の組織としての仕組みを再認識できました。

まだまだ仕事には不慣れですが、町長の考え、町民の声を反映できるように日々の仕事を頑張りたいと思います。

仕事を丁寧にし ていこうと思う

社会教育課 芝野裕己

有田川町は私自身が勤める町であると同時に、私自身が住んでいる町でもあります。その有田川町がこれからどのような町になっていくのか、そして、どのような問題をどのような解決方法を用いているのかなど、議会での話し合いは多岐にわたっていました。

また、その議会が有田川町をよりよいものとするため、話し合っていたことが見て取れました。

今回の新規採用職員議会傍聴研修を受け、私ももっと町のことを深く考えて、町民の方々がより住みやすくなるように一つの仕事を丁寧に行いたいと思います。

ぶどう山椒ブランド化推進事業に750万円 きび体育館天井落下防止対策費に約4496万円

平成29年度一般会計補正予算4524万5千円の追加補正（増減額差し引いて）

●平成29年度一般会計補正予算（主な事業を掲載）

	事業名など	内 容	金 額
総務費	秋葉公民館改修補助費	雨もり、トイレ改修など	300万円
	一般コミュニティ助成事業	安諦地域への活動団体へ特産品の開発・販売など	130万円
	地方創生推進交付金事業	ぶどう山椒ブランド化、成分分析、美容品開発、有名シェフによる商品開発、ロゴづくりなど	750万円
衛生費	備品購入費	きび保健福祉センターへの運動器具購入、寄付金の活用	60万円
土木費	防災・安全交付金事業	国からの交付金が予想より少なかったため	△1900万円
	公有財産購入費	北筋西丹生図2号線土地購入	400万円
教育費	教育活動奨励金	環境教育のための教材購入、社会見学など	120万円
	御霊小学校修繕費	学校付近の通学対策	108万円
	図書購入費	寄付金でアレックへ図書購入	20万円
	きび体育館耐震化工事費	天井の落下防止ネットの設置 照明のLED化など	4496万円

●**辺地総合整備計画の策定**
「町道二り石線道路改良事業」（上六川地区）5000万円
「防火水槽設置事業」（生石地区、久野原地区）各500万円

●**一般財団法人「有田川町ふるさと開発公社」の経営状況**

●平成29年度国民健康保険事業特別会計

保険事業費	保健衛生普及費	医療費通知の回数を4回から7回に増やす	117万円
-------	---------	---------------------	-------

●条例の一部改正

消防団員等公務災害補償条例		
町税条例（住民税の配偶者控除を所得による廃止など）		
国民健康保険税条例（5割・2割軽減世帯の拡充）		
使用料の徴収に関する条例（アレック内の施設使用料の改正）		
消防団員の定員、任命、服務等に関する条例 （団長、副団長などの報酬を改正）		
	現行	改正後
団 長	9万円	10万円
副 団 長	5.2万円	9万円
副支団長		5.2万円
生産物販売施設条例（高原の家「しみず」の項を削除する）		

	現行	改正後
イベントステージ	①1,500円から6,000円まで	①1時間あたり1,600円
研修室	②1,200円から5,000円まで	②1時間あたり800円
昇降ステージ	③10,000円	③15,000円
多目的スペース		④30,000円
備考	①②は時間帯で細かい料金を設定していた。	①②は1時間単位の料金設定
	③は6日間の料金	③は1日の料金 ④午後6時から午後10時までの料金



国道424号（畦田地内）



国道480号（清水・久野原地内）



県道海南金屋線鏡石トンネル予定地付近（上六川地内）



平成29年度末に完成予定の県道楠本小川線吉田バイパス（吉田地内）

国道・県道などの現地調査
国道対策特別委員会活動報告

国道の進捗状況を調査

6月19日、国道対策特別委員会を開きました。
今回、国道480号・424号の有田川町管内路線の整備状況、県道海南金屋線の整備状況の調査を行いました。

要望事項

- 国道480号、清水地内の拡幅整備
- 国道480号田殿橋から中央橋間の拡幅整備
- 吉田バイパスなどの早期完成
- 丹後の森（金屋）交差点右折レーンの設置
- 県道海南金屋線の早期完成

道路の認定

町道北筋西丹生図2号線
延長 680m
幅員 9m
産業建設住民常任委員会で現地調査を行い、認定することになりました。

月 日	委員会名	出席者
4月 7日	議会広報編集特別委員会	委員5人、議長
4月12日	総務文教福祉常任委員会	委員6人、議長
4月14日	議会運営委員会	委員4人、議長
4月14日	議会広報編集特別委員会	委員6人、議長
6月 1日	議会運営委員会	委員4人、議長
6月 7日	産業建設住民常任委員会	委員7人 (うち議長も含む)
6月 8日	総務文教福祉常任委員会	委員7人、議長
6月13日	議会活性化調査特別委員会	委員6人、議長
6月19日	国道対策特別委員会	委員7人 (うち議長も含む)
6月27日	議会広報編集特別委員会	委員6人、議長



町道認定の現地調査（下津野地内）



全国から鉄道ファンがかけつけた（鉄道交流館）

求む!



広報委員会では、議
会広報誌「かわら版」
の表紙を飾る写真・イ
ラストなど、町民の皆
さんから募らせていた
だいております。

有田川町の名所や風
景など、お気軽にご応募
ください。

皆さんからの意見、
ご感想もお待ちしております。

議会広報編集 特別委員会

◎ 増谷 憲

○ 小林 英世

○ 谷畑 進

○ 辻岡 俊明

○ 林 宣男

○ 岡 省吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

今年も天候が不順です。
本町では入梅後、雨が
降らず、取水制限も検討
されました。また、7月
に入り、豪雨で各地に特
別警報が出ました。

原因のひとつに地球温
暖化が考えられます。農
業や漁業だけでなく、命
や生活を直撃する地球温
暖化の対策は待ったなし
です。

有田川町は「エコの
町」「自然エネルギーの
町」として、全国に認め
られています。この施策
をさらに進めることが、
地球温暖化対策の切り札
になると考えます。
小さな町の取り組みが
全国や全世界に広がるこ
とを期待しています。

（小林 英世）

お問い合わせ ☎ 521-2111
吉備庁舎4階 議会事務局まで